

5

兵庫の防災教育の充実



1 兵庫の防災教育について

震災後、県教育委員会が設置した防災教育検討委員会の提言（平成7年10月）をうけ、従来の安全教育に加え、助け合いの大切さや共生の心など、人間としての在り方生き方を考える防災教育の実践を目指すとともに、被災した児童生徒の心のケアに努める「新たな防災教育」を推進してきた。

県の復興10年委員会（平成15～16年度）や阪神・淡路大震災復興フォローアップ委員会（平成17年度～）においても、安全で安心な社会を構築するための教育という積極的な防災教育の推進が繰り返し提言されてきた。

今後は、阪神・淡路大震災を語り継ぐとともに、東日本大震災の教訓を踏まえ、発生が危惧されている東南海・南海地震や、毎年のように発生する風水害等、様々な自然災害に備え、かけがえのない生命を守るため、「たくましく生きる災害に強い人づくり」がますます重要となっている。

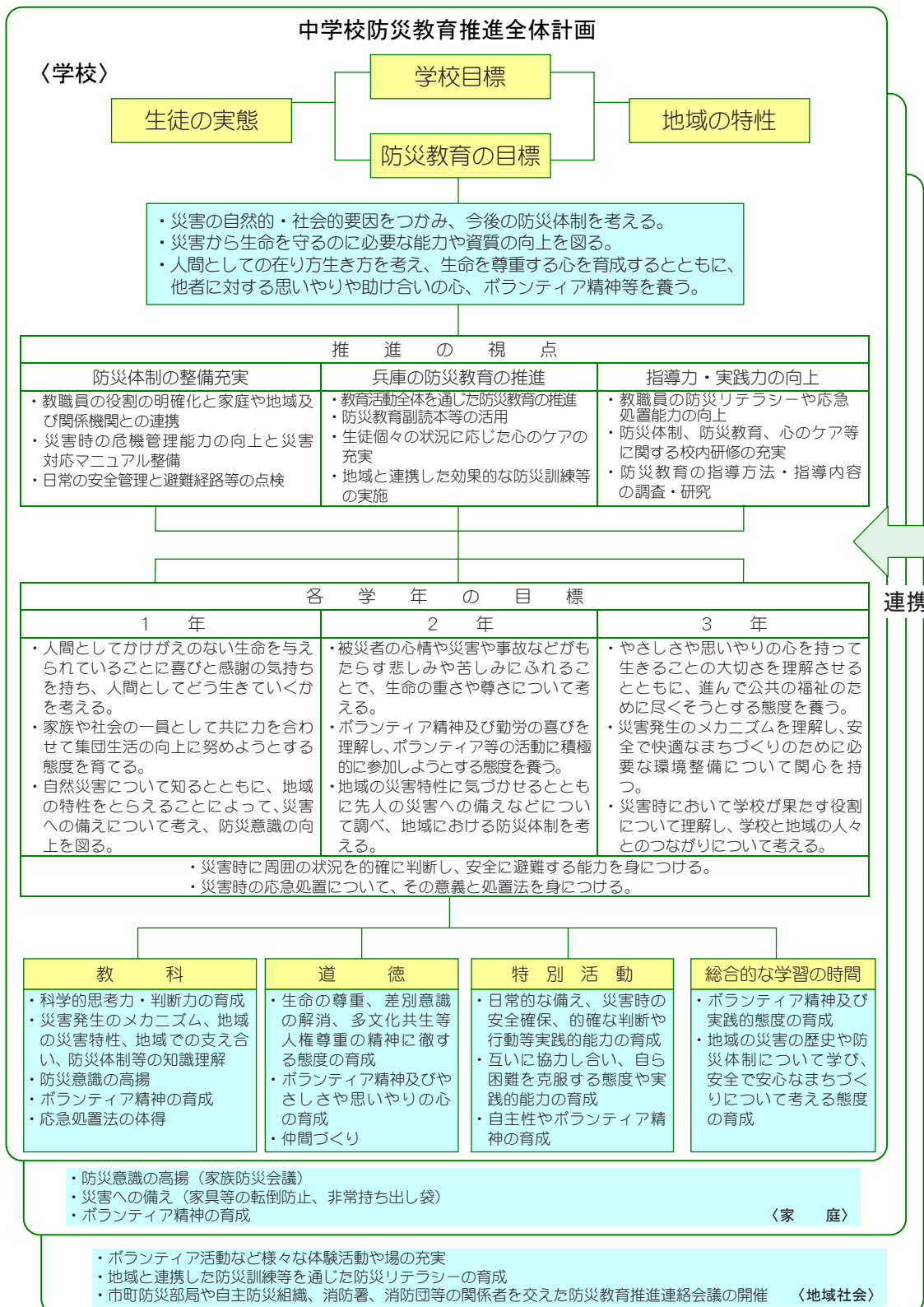
これまでの経験や教訓を「忘れない」、「伝える」だけでなく、次の災害に「備える」をキーワードに、防災教育副読本「明日に生きる」を活用して、災害に対する正しい知識を身につけ、災害発生時に適切に判断し、すばやく避難することで自分の身は自分で守るなど、主体的に行動する力を育成する。

「兵庫の防災教育」の目標と副読本「明日に生きる」の柱

	知：科学的な理解を深める	技：かけがえのない生命を守る	心：人間としての在り方生き方を考える
	災害の歴史と防災対策を理解し、自然環境、社会環境と防災との関係や自然災害の種類とメカニズム等を科学的に理解する。	建物の耐震補強や家具の固定、災害発生時の身の守り方、応急措置、心肺蘇生法、ストレスへの対応等の技術・技能を身に付ける。	生命の尊重や他者への思いやり、ふれあいを大切にす る心、ボランティアに参加する心、社会に貢献する心等を育成する。
副読本の柱	災害について知る		生き方を考える
	自分の身は自分で守る		
	共に生きる		
	心をケアする		
	公の助けを得る		

2 防災教育推進全体計画

防災教育については、児童生徒の発達段階、学校の実態や地域の特性に応じて指導内容を検討し、訓練はもとより各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教育活動全体を通じて計画的に進める。そのため、各学校においては、検討した指導内容をもとに、児童生徒一人一人が災害に適切に対応する能力を確実に身に付けられるよう、防災教育推進全体計画を立案し、指導の充実を図らなければならない。



3 防災教育指導計画

防災教育を体系的・計画的に推進するために、防災教育推進全体計画をもとに指導計画を作成し、その実践の成果を絶えず点検・評価し、体系化された指導計画にフィードバックする。

指導計画を作成するためには、学習指導要領から、防災教育に関わる指導内容を抽出し整理することが大切である。また、防災教育副読本「明日に生きる」では、防災訓練の事前・事後指導に活用できる資料、理科や社会等の指導内容に関連づけて活用できる資料、道徳の時間で活用できる読み物資料、また、ボランティア活動やマップづくり等を通じて地域に貢献する取組等、総合的な学習の時間等の課題として活用できる資料を掲載している。学習指導要領における各教科等の目標・内容に応じて、副読本の題材を位置づけ、指導計画を作成する。

(1) 小学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第2章各教科

第2節 社会

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3年	1 目標 (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。	◎町のほうさいせつをさがそう ◎水が出た
4年	2 内容 (4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。 ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。 イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。	◎さい害時に命を救う仕事 ◎阪神・淡路大震災のときに多くの命を救った地いきの助け合い
5年	1 目標 (1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。	
	2 内容 (1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。 イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活 エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止 (4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。 イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり	◎正確な情報を早く知る
6年	内容 (2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。 ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること	◎阪神淡路大震災からの復旧・復興

第4節 理科

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
5年	<p>1 目標</p> <p>(2) 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件、時間、水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 流水の働き 地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつことができるようにする。 ア 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。 ウ 雨の降り方によって、流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する可能性があること。</p> <p>(4) 天気の変化 1日の雲の様子を観測したり、映像などの情報を活用したりして、雲の動きなどを調べ、天気の変化の仕方についての考えをもつことができるようにする。 イ 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。</p>	◎兵庫県の気象と水害
6年	<p>1 目標</p> <p>(2) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(4) 土地のつくりと変化 土地やその中に含まれる物を観察し、土地のつくりや土地の働き方を調べ、土地のつくりと変化についての考えをもつことができるようにする。 ア 土地は、礫、砂、泥、火山灰及び岩石からできており、層をつくって広がっているものがあること。 イ 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあること。 ウ 土地は、火山の噴火や地震によって変化する。</p>	◎二つの大地震

第5節 生活

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
1年	<p>1 目標</p> <p>(1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気づき、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。</p>	◎じしんがおきてもあわてない ◎いのちをまもるものをさがしにいこう
2年	<p>(3) 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p> <p>(4) 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</p>	

第9節 体育

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3年 4年	<p>1 目標 (1) 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身につけ、体力を養う。</p> <p>2 内容 D 浮く・泳ぐ運動 (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア 浮く運動では、いろいろな浮き方や伸びをすること。</p>	◎「泳ぐ」より「うく」
5年 6年	<p>1 目標 (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。</p> <p>2 内容 G 保健 (1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。 ア 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。 イ 心と体は、相互に影響し合うこと。 ウ 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。 (2) けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。 ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。 イ けがの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。</p>	◎き險な空間を減らそう

第3章 道徳

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
1年 2年	<p>1 主として自分自身に関すること。 (1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p>	
	<p>2 主として他の人とのかかわりに関すること。 (2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 (3) 友達と仲よくし、助け合う。</p>	◎おばあちゃんこれ ◎ほくの車いす ◎ありがとう
	<p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p>	◎とてもこわかったよ
	<p>3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。 (1) 生きることを喜び、生命を大切にすることをもち。</p>	◎おふろに入ったよ ◎いろいろな気持ち ◎わたしのシロ
2年	<p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。 (1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。 (2) 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。</p>	◎水くみたよ
	<p>(4) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。</p>	◎元気でよかったね

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3年	<p>1 主として自分自身に関すること。 (2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。</p>	◎みんなを見守るブラポン
	<p>2 主として他の人とのかかわりに関すること。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p>	◎ひとつになった ◎おばあちゃん 風呂に入りよ
4年	<p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p>	◎いつまでもわすれない
	<p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p>	◎ガスの工事に来たお兄ちゃん(水が出た)

3年	3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること。 (1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。	◎春がきた
4年	4 主として集団や社会とかかわりに関すること。 (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 (2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。 (5) 郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつ	◎南三陸町にさく「はるかのひまわり」

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
5年	1 主として自分自身に関すること (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。	◎明日を信じて
	2 主として他の人とかかわりに関すること。 (2) だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。 (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。	◎わたしにとっての地震 ◎花と水 ◎仮設住宅 ◎何も考えられない
6年	3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること。 (1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	◎お父さん ◎12時にサイレンが町中にひびいた ◎悲しみをのりこえて ◎今日は青い日
	4 主として集団や社会とかかわりに関すること。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。	◎何かしたい役に立ちたい ◎「ほくたちの夏」 ◎ほくは一人じゃない ◎共に支え合って

第5章 総合的な学習の時間

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3年 ～ 6年	1 目標 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 2 内容 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。	◎想定や経験をこえた東日本大震災 ◎まほろしの白石村 ◎天津波記念碑

第6章 特別活動

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
1年 ～ 6年	[学級活動] 1 目標 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 2 内容 [共通事項] (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成	◎悲しい気持ち、こわい気持ち」 ◎助け合って生活するために ◎ふれ合うと温かくなるね ◎災害後の生活に求められる「公平さ」 ◎しんぞうがとまりそうだった ◎ほくの町がなくなってしまった

<p>1年 ～ 6年</p>	<p>〔児童会活動〕 1 目 標 児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 2 内 容 学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。 (1) 児童会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力</p>	<p>◎1. 17はわすれない ◎ほくらができるひ災地支えん</p>
<p>1年 ～ 6年</p>	<p>〔学校行事〕 1 目 標 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 2 内 容 全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。 (2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。 (4) 遠足・集団宿泊的行事 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>◎じしんのときのこうどう ◎あつという間のすごい流れ ◎大地しんがきた ◎さい害後のこんなんな生活を乗りこえる。 ◎想定や経験を超えた東日本大震災 ◎地震時に命を守るひ難行動 ◎しゅん時の判断 救った命</p>

(2) 中学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第2章 各教科

第2節 社会

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>第1 目標 広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p> <p>第2 各分野の目標及び内容 〔地理的分野〕 2 内容 (2) 日本の様々な地域 イ 世界と比べた日本の地域的特色 世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。 (ア) 自然環境 世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。 ウ 日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。 (ア) 自然環境を中核とした考察 地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。 エ 身近な地域の調査 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見いだし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。 〔公民分野〕 2 内容 (2) 私たちと経済 イ 国民の生活と政府の役割 国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の動きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる。</p>	<p>◎地震の歴史</p> <p>◎阪神・淡路大震災からの復旧・復興</p>

第2節 理科

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>1 目標 自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>第2 各分野の目標及び内容 〔第2分野〕 2 内容 (2) 大地の成り立ちと変化 大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ、大地の変化についての認識を深める。 ア 火山と地震</p>	<p>◎地震から命を守るために ◎津波から命を守るために ◎地震の歴史 ◎あなたは命を守れますか？</p>

<p>(ア) 火山活動と火成岩 火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえること。</p> <p>(イ) 地震の伝わり方と地球内部の動き 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の動きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。</p> <p>(4) 気象とその変化 身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いださせるとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。</p> <p>ア 気象観測 (ア) 気象観測 校庭などで気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身に付けるとともに、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだすこと。</p> <p>イ 天気の変化 (ア) 霧や雲の発生 霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けてとらえること。</p> <p>(イ) 前線の通過と天気の変化 前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気と関連付けてとらえること。</p> <p>ウ 日本の気象 (ア) 日本の天気の特徴 天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえること。</p> <p>(イ) 大気の動きと海洋の影響 気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響と関連付けてとらえること。</p> <p>(7) 自然と人間 自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。</p> <p>イ 自然の恵みと災害 (ア) 自然の恵みと災害 自然がもたらす恵みと災害などについて調べ、これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について考察すること。</p>	<p>◎大雨から命を守るために</p>
---	---------------------

第7節 保健体育

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>〔保健分野〕</p> <p>1 目標 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。 欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。</p> <p>(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかわって発生すること。 イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。 ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。 エ 応急手当を適切に行うことによっては、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。</p>	<p>◎こころとからだの元気のために</p> <p>◎あなたは大切な人の命を助けられますか？</p>

第3章 道徳

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>1 主として自分自身に関すること。</p> <p>(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。</p> <p>(2) より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。</p> <p>(3) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。</p> <p>(4) 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。</p> <p>(5) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。</p>	<p>◎If…『生きる』という時間を求めて</p>
<p>2 主として他の人とのかかわりに関すること。</p> <p>(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。</p> <p>(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。</p> <p>(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。</p>	<p>◎ゆれる心</p> <p>◎仲間に出会った</p> <p>◎きびしさの中で</p>
<p>3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。</p> <p>(1) 生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心もち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。</p> <p>(3) 人間としての弱さ醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努める。</p>	<p>◎生かされている</p> <p>◎語りかける目</p> <p>◎響け！復興和太鼓</p>
<p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。</p> <p>(2) 公徳心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。</p> <p>(4) 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</p> <p>(5) 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</p> <p>(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。</p> <p>(7) 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。</p>	<p>◎絶対に、こんなことで死んでたまるか</p> <p>◎心がひとつに</p>

第4章 総合的な学習の時間

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>第1 目標</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</p> <p>第2 各学校において定める目標及び内容</p> <p>1 目標</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>2 内容</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。</p>	<p>◎地域の一員としてできること</p>

第6章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>〔学級活動〕</p> <p>1 目標</p> <p>学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p>	

<p>2 内 容 学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。 (2) 適応と成長及び健康安全 ウ 社会の一員としての自覚と責任 カ ボランティア活動の意義の理解と参加 キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成学級活動</p>	<p>◎ 1. 17は忘れない</p>
<p>〔生徒会活動〕 1 目 標 生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 2 内 容 学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。 (1) 生徒会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 (4) 学校行事への協力 (5) ボランティア活動などの社会参加</p>	<p>◎地域の一員としてできること ◎ 1. 17は忘れない</p>
<p>〔学校行事〕 1 目 標 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 2 内 容 全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。 (2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。 (4) 旅行・集団宿泊的行事 平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業や進路にかかわる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>◎あなたは命を守れますか ◎地震の歴史 ◎地震から命を守るために ◎津波から命を守るために ◎大雨から命を守るために ◎津波でんてんこにこめられた家族の思い</p>

(3) 高等学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第4章 総合的な学習の時間

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>第1 目標</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。</p> <p>第2 各学校において定める目標及び内容</p> <p>1 目標</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>2 内容</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。</p>	<p>◎地域の一人としてあなたができること</p> <p>◎安全な街づくりに参画する</p>

第5章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
<p>第2 各活動・学校行事の目標及び内容</p> <p>〔ホームルーム活動〕</p> <p>1 目標</p> <p>ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一人としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルームや学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。</p> <p>(2) 適応と成長及び健康安全</p> <p>ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任</p> <p>カ ボランティア活動の意義と理解と参画</p> <p>ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立</p>	<p>◎皆さんに考えてほしいこと</p> <p>◎阪神・淡路大震災からの復旧復興</p> <p>◎兵庫県南部地震について</p> <p>◎一変した光景</p> <p>◎震災に教えられた</p> <p>◎阪神・淡路大震災</p> <p>◎神戸市立西市民病院 4階</p> <p>◎かあさん、頑張るよ</p> <p>◎地域の一人としてあなたができること</p> <p>◎災害ボランティアのすすめ</p> <p>◎支援者としての心のケアの視点</p>
<p>〔生徒会活動〕</p> <p>1 目標</p> <p>生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一人としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。</p> <p>(1) 生徒会の計画や運営</p> <p>(2) 異年齢集団による交流</p> <p>(3) 生徒の諸活動についての連絡調整</p> <p>(4) 学校行事への協力</p> <p>(5) ボランティア活動などの社会参画</p>	<p>◎地域の一人としてあなたができること</p> <p>◎災害ボランティアのすすめ</p>
<p>〔学校行事〕</p> <p>1 目標</p> <p>学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。</p> <p>(1) 儀式的行事</p> <p>学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。</p> <p>(2) 文化的行事</p> <p>平素の学習活動の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事</p> <p>心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や</p>	<p>◎あの震災から学んだこと</p> <p>◎ 1. 17は忘れない</p>

<p>規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎南海トラフ巨大地震「その時」あなたは① ◎南海トラフ巨大地震「その時」あなたは② ◎山崎断層による地震「その時」あなたは③ ◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて ◎避難行動における心理的特性</p>
--	--

(4) 特別支援学校における学習内容

特別支援学校においては、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における指導内容を参考にするとともに、児童生徒の障害の状態、発達段階、特性等及び地域の実態等に応じて、次の例を参考にして指導することが考えられる。

ア 小学部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
生活科	健康・安全	(1段階) ・ 交通信号に注意しながら、教師と一緒に行動する。 ・ 教師と一緒に避難訓練に参加し、避難場所に移動することができる。 (2段階) ・ ガスの栓、マッチ、刃物などの危険な物に、必要以上に触れない。 ・ 教師と行動を共にしながら、自動車や自転車などに気をつけること。 ・ 避難時に教師等の指示により、友だちと一緒に行動する。 ・ 「火事」「地震」「避難」などの言葉の意味を理解する (3段階) ・ 安全に遊具や日常生活で使用する器具等を扱う。危険な場所や状況から回避したり、大人に知らせたりする。 ・ 自分から安全に留意し、様々な標識を理解する。 ・ 避難時に、教師等の指示を適切に理解し、自分で安全な体制をとる。
	社会の仕組み	(1段階) ・ 隣近所の人などに関心を持つ。 ・ 公園、学校、駅などがあることに気づき、そこに出かけて関心を持つ。 ・ 教師と一緒に児童にとって身近な公園、広場、公衆便所などの公共施設を利用する。 (2段階) ・ 身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 ・ 自分が住む町の公共施設などの様子に関心を持ち、およその名称などを知ると共に、自分の生活との関連について知る。 ・ 図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を教師の援助を受けながら利用し、そのおよその働きがわかる。 (3段階) ・ 家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業がわかったりする。 ・ 自分の住む地域や隣接する市町村の名称がわかる。 ・ 警察署（派出所）、消防署、郵便局、病院などの実際に利用したり、見学したりしておよその仕事の様子がわかる。

イ 中学部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
社会科	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 学校、図書館、郵便局、警察署、消防署、病院などの働きがわかり、利用する。
理科	人体 事物や機械 自然	<ul style="list-style-type: none"> 病気やけがのおよその症状、病気に関係するかびや細菌などのほか、消毒の働きや日常用いる医薬品、食品と栄養の関係などを知る。 日常生活に関係の深い事物（食品、熱源、金属、プラスチック、ガラスなど）の性質や用途を等取り扱う際に留意することについて、基本的な事項を知る。 日常生活で使用する電気器具などについて、正しい使用方法、保管や保守、留意点などについて基本的な事項を知る。 気象の変化、太陽や星の動き、地震などの自然現象について、日常生活との関連を知る。
職業科 ・ 家庭科	道具・機械等の取扱いや安全・衛生 家庭に関する基礎的な事項	<ul style="list-style-type: none"> 道具や機械の簡単な操作の仕方、材料の扱い方を理解する。 道具や機械の手入れ、後片付けや整理整頓をする。 危険な場所や物に注意を払い、自分や他人の安全や衛生、健康に気をつける。 照明器具、冷暖房器具を安全に使うこと、住居を清潔にすることなど、住居周りの環境の整備を行う。

ウ 高等部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
社会科	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 市（区）役所（町、村役場）、警察署（派出所）、消防署、病院などの公共施設の働きを理解し、適切に利用する。
理科	人体 事物や機械 自然	<ul style="list-style-type: none"> 主な病気やけがなどの原因や症状、消毒の働きや医薬品について理解する。 生活に関係のある物質の性質や、機械・器具の構造に関する知識を習得し、用途を知り、安全に扱う。 機械の構造及び働きについて理解し、オイルやガソリンなどの燃料との関連を知り、安全かつ効率的に扱う。 雨量が多すぎると災害をもたらすこと、地震や火山活動、台風は生活に大きな被害を与える場合があることなどの初歩的な知識を習得する。 地震や火山活動などによる災害と日常生活など、自然と生活との関係に関する知識を習得する。
職業科	道具・機械等の取扱いや安全・衛生	<ul style="list-style-type: none"> 道具や機械の操作に慣れ、道具や機械を安全と衛生に気をつけて正しく行う。 道具や機械の手入れや簡単な修理及び管理を行う。 危険な場所や状況に注意を払い、健康に悪影響を与えるような状況を避けたり、つくらないようにしたりしながら作業や実習をする。
家庭科	家庭生活に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 防犯ベル、火災報知器、消火器などの正しい扱い方を知ること。 地震、台風、洪水などの際の行動の仕方をしる。

(5) 防災教育年間指導計画例

ア 小学校低学年(1・2・3学年)

〈 〉 は、防災教育副読本「あすにいきる」の題材名

月	1 年			2 年			3 年			総合
	教科	道徳	特活	教科	道徳	特活	教科	道徳	特活	
	防災教育関連行事等									
4	年間指導計画・組織 校区、通学路の安全点検 学級連絡網の作成 引き渡しカード作成 地区別安全下校指導 避難経路の確認	生：〈じしんがおき てもあわてな い〉	下校指導 〈しんそうがとま りそうだった〉			下校指導 〈ほくの町がなく なあってしまっ た〉			下校指導	
5	集団下校訓練 防災訓練計画 第1回防災訓練 (授業中・地震・火災・引き渡 し)		避難訓練事前指導 〈じしんのときの こうどう〉			避難訓練事前指導 〈じしんのときの こうどう〉			避難訓練事前指導 〈じしんのときの こうどう〉	
6	防災器具の点検整備 豪雨・台風に備えて 水泳安全指導 防犯訓練(不審者)	〈あふるにはいっ たよ〉	〈かぞくて はな しあおう〉 夏休みの生活	〈いのちをまもる ものをさがしに いこう〉	〈わたしのシロ〉	〈あつというまに すていながれ〉	社：〈町のぼうさい しせつをさがそ う〉 体：〈泳ぐ〉より 「うく」			
7	救急法(職員・PTA) 着衣水泳					夏休みの生活		〈みんなを見守る アラボン〉	夏休みの生活	
8	防災ポスター 防災機器の点検整備 通学路の安全点検									
9	第2回防災訓練 (休憩中・地震・火災) 防災教育講話 防災週間	〈とてもこわかっ たよ〉	避難訓練事前指導 〈じしんがおきて もあわてない〉		〈おばあちゃんこ れ〉	避難訓練事前指導 〈じしんがおきて もあわてない〉		〈ガスの工事に来 たお兄ちゃん〉 〈氷が出た〉	避難訓練事前指導 〈大地しんがき た〉	
10										
11	ストーブの取扱い				〈ほくの車いす〉					
12	集団下校訓練 教職員研修 (防災教育講話)	〈ありがとう〉	冬休みの生活			冬休みの生活		〈いつまでもわす れない〉	冬休みの生活	
1	第3回防災訓練 (家庭から地域・地震) 消防署招聘 (防災器具取扱い等) 追形式	〈水くみしたよ〉	避難訓練事前指導 〈悲しい気持ち、 こわい気持ち〉		〈元気でよかった ね〉	避難訓練事前指導 〈悲しい気持ち、 こわい気持ち〉		〈ひとつになった〉	避難訓練事前指導 〈助け合って生活 するために〉 〈1.17 は忘れな い〉	
2	防災器具の点検整備 教育相談							〈春がきた〉	〈地域の人にあり がたう〉	
3			春休みの生活			春休みの生活			春休みの生活	

イ 小学校高学年(4・5・6学年)

〈 〉は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

月	4 年			5 年			6 年		
	教科	道徳	特活	教科	道徳	特活	教科	道徳	特活
	防災教育関連行事等 年間指導計画・組織 校区、通学路の安全 点検 学級連絡網の作成 引き渡しカード作成 地区別安全下校指導 避難経路の確認		下校指導		〈悲しみをのり こえて〉	下校指導		〈明日を信じ て〉	下校指導
4		〈何も考えられ ない〉	避難訓練事前指 導 〈津波から大切 な命を守る つ！〉			避難訓練事前指 導 〈想定や経験を こえた東日本 大震災〉			避難訓練事前指 導 〈地震時に命を 守るひ難行 動〉
5	集団下校訓練 防災訓練計画 第1回防災訓練 (授業中・地震火災・ 引き渡し)				〈花と水〉			〈ほくたちの 夏〉	
6	豪雨・台風に備えて 水泳安全指導 防犯訓練(不審者)	〈南三陸にさく 「はるかのひ まわり」〉							
7	救急法(職員・PTA) 着衣水泳		夏休みの生活	体・水泳		夏休みの生活		体・水泳	夏休みの生活
8	防災ポスター 防災機器の点検整備 通学路の安全点検								
9	第2回防災訓練 (休憩中・地震火災) 防災教育講話 防災週間		〈さい害直後の こんな生活 を乗りこえ る〉	理：〈兵庫県の気 象と水害〉	〈何かしたい 役に立ちた い〉	〈災害後の生活 に求められる 「公平さ」〉		〈仮設住宅〉	〈しゅん時の判 断救った命〉
10									
11	ストーブの取扱い				〈ほくは一人じ やない〉				
12	集団下校訓練 教職員研修 (防災教育講話)		冬休みの生活	体：〈き障も空間 を減らそう〉		冬休みの生活			冬休みの生活
1	第3回防災訓練 (家庭から地域・地震) 消防署招聘 (防災器具取扱い等) 追悼式	〈おばあちゃん 風呂に入り よ〉	避難訓練事前指 導 〈震災モニユメ ントマップ〉		〈12時にサイ レンが町にひ びいた〉	避難訓練事前指 導 〈ふれあうと温 かくなるね〉		社：〈阪神・淡路 大震災からの 復興・復興〉	避難訓練事前指 導 〈芦屋市の小学 校の震災追と う式〉 〈悲しみをのり こえて〉
2	防災器具の点検整備 教育相談				〈お父さん〉			〈共に支え合っ て〉	〈ほくらがで きるひ災地 支え〉
3			春休みの生活			春休みの生活		〈今日は青い 日〉	春休みの生活

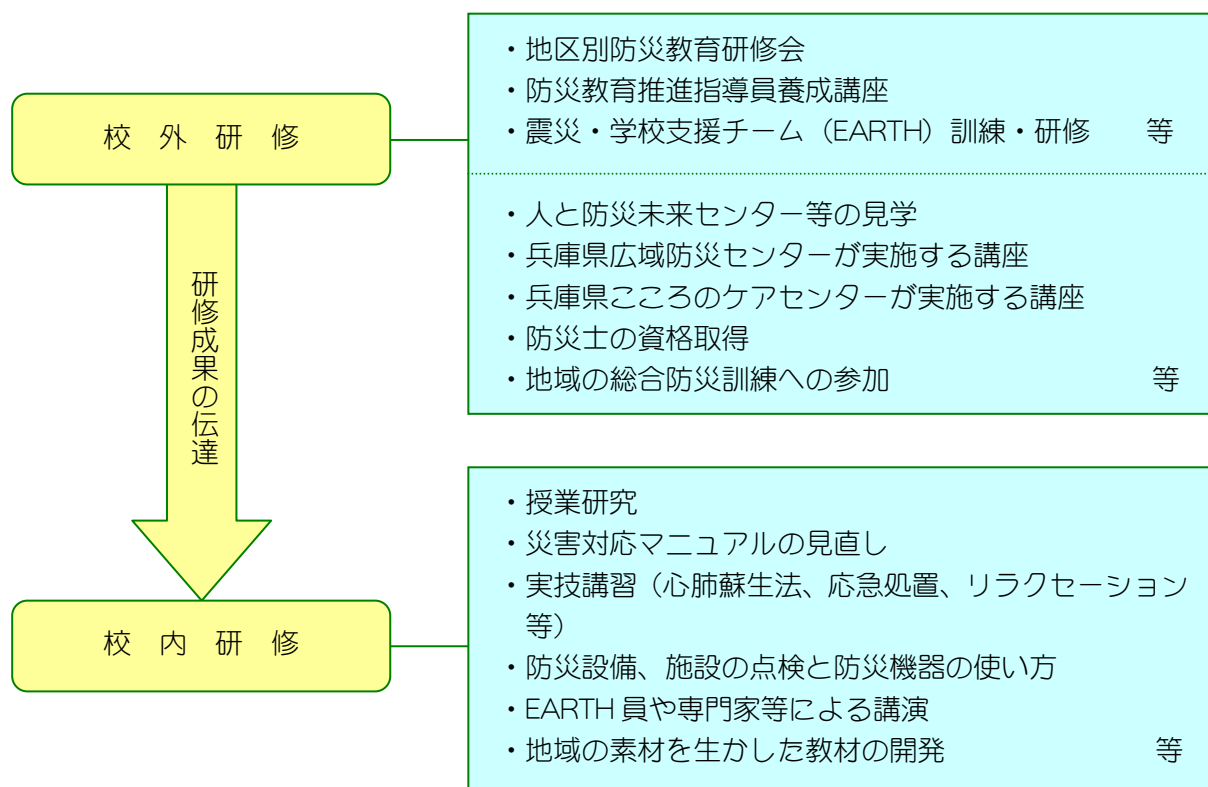
〈 〉は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

ウ 中学校

月	1 年			2 年			3 年			総合		
	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合	教科		道徳	特活
	防災教育関連行事等											
4	年間指導計画 校内安全点検 通学路の確認 避難経路の確認 緊急連絡網の作成		通学路の確認 避難経路の確認 集団行動と緊急対応				通学路の確認 避難経路の確認 集団行動と緊急対応				通学路の確認 避難経路の確認 集団行動と緊急対応	
5	校内安全点検 交通安全指導 第1回防災訓練(火災)	〈if…『生きる』という時間を求めて生かされている〉	防災訓練事前指導				防災訓練事前指導			〈語りかける目〉		
6	防犯訓練(不審者) 校内安全点検 水泳安全指導		警戒発令時の行動 〈大雨から命を守るために〉				警戒発令時の行動 〈大雨から命を守るために〉					
7	救急法(職員・PTA) 校内安全点検	保：救命救急法 〈あなただけは大切な人の命を助けられますか?〉	夏休みの生活	安全マップ 〈地域の一人ひとりができること〉			保：救命救急法 〈あなただけは大切な人の命を助けられますか?〉				夏休みの生活	
8	防災ポスター 防災機器の点検整備											
9	校内安全点検 交通安全指導	〈仲間へ会えた〉			〈きびしさの中で〉					〈ゆれる心〉		
10	校内安全点検											
11	校内安全点検		暖房器具の安全な取り扱い				暖房器具の安全な取り扱い		社：〈阪神淡路大震災からの復旧・復興〉		暖房器具の安全な取り扱い	
12	校内安全点検 暖房開始 教職員研修 (防災教育講話)		冬休みの生活				冬休みの生活				冬休みの生活	
1	校内安全点検 第2回防災訓練(地震防災訓練)追悼式	理：〈地震から命を守るために〉 〈地震の歴史〉	阪神淡路大震災を振り返る 地震発生時の避難方法 〈1.17は忘れないうい〉 〈地震から命を守るために〉		〈響け！復興と太鼓〉		阪神淡路大震災を振り返る 地震発生時の避難方法 〈あなただけは命を守れますか?〉 〈地震の歴史〉			〈心ひとつに〉		阪神淡路大震災を振り返る 地震発生時の避難方法 〈津波から命を守るために〉 〈津波で亡くなった家族の思い〉
2	防災機器の点検整備											
3	校内安全点検		春休みの生活				春休みの生活				春休みの生活	

4 教職員の研修

学校の防災体制の整備充実や防災教育の推進は、児童生徒の安全の確保に関わるきわめて重要な課題であり、県教育委員会等が実施する研修に参加するとともに、校内研修の充実を図り、教職員の意識、資質の向上に努めなければならない。



校内研修の内容（例）

(1) 防災教育の充実

- ・地区別防災教育研修会に参加した教員が、防災教育副読本「明日に生きる」を活用事例について、全教員に説明するとともに、それを取り入れた研究授業を行う。
- ・研究部（研修部）が中心になって地域素材を生かした防災教育の教材を開発し、その活用について研究授業を行う。

(2) 防災体制の確立

- ・災害対応マニュアルに基づいた訓練を実施し、評価・改善を全ての教職員で共通理解する場を設定する。
- ・防災訓練に先立って校内の安全点検及び防災設備の点検を行うとともに、避難用シュートターや屋内消火栓等の設備の使用方法について実習する。
- ・市町の防災担当者から、当該市町の防災体制や避難所開設の手順等について説明を受け、避難所開設のシミュレーションを行う。

(3) 防災リテラシーの向上

- ・消防署の救急救命士から AED の使用方法について指導を受けるとともに、心肺蘇生法、三角巾を使った応急処置等について実習を行う。
- ・「災害を受けた子どもたちの心の理解とケア（研修資料）」を活用した事例研修や臨床心理士等の専門家による講演を聴き、引き続き講師の指導助言のもと事例研究を行う。